

建設コンサルタンツ協会中部支部
若手の会 WG

令和 5 年度活動報告書

令和 6 年 1 月

一般社団法人建設コンサルタンツ協会 中部支部

若手の会 WG

- 目 次 -

1. 活動目的と WG メンバー	1
1.1 活動目的	1
1.2 WG メンバー	1
2. 活動内容	2
2.1 各種会議等の開催	2
2.2 若手の会交流会	4
2.3 学生 PR	5
2.3.1 「JOB Caf� in 名古屋」の開催	5
2.3.2 あいち建設未来サロンへの参加	6
2.3.3 建設技術フェア 2023in 中部	7
2.4 女性の会との交流	8
2.4.1 合同 WG	8
2.4.2 意見交換会	9
2.5 産官三機関合同インターンシップ	10
2.6 中部圏インフラ整備構想協議会	11
2.7 業界の意識調査に関する活動	12
2.8 図夢 in 中部への投稿	16
3. 感想と今後	18
3.1 年間の活動を通して	18
3.2 今後の活動方針	18

1. 活動目的とWGメンバー

1.1 活動目的

中部若手の会WGは、リーダーとして活躍する人材の育成や若手技術者同士の切磋琢磨、業界の活性化を目的に、平成29年4月から任期を2年として発足しました。

現在、4期目として12名が参加しています。

★建設コンサルタントの将来を担うリーダーとして活躍する人材育成

WGメンバーが、建設コンサルタント業界を担うリーダーとしての資質向上を図るため、定期的なWGを開催しました。WGを通じて若手技術者同士での意見交換、業界の活性化に向けた議論を実施しました。

★業界活性化（入職率アップと離職率ダウン）

建設コンサルタント業界は、知名度が低いこと、長時間労働等による高い離職率が大きな問題となっています。そのため、建設コンサルタントの知名度を向上させることを目的とした“業界PR活動”、労働環境の改善に向けた“業界の意識調査”を軸とする活動に取り組んでいます。

1.2 WGメンバー

《リーダー》☆	山下 諒也	株式会社建設技術研究所
《サブリーダー》☆	大野 峻	株式会社オリエンタルコンサルタンツ
《サブリーダー》☆	中迫 惇斗	株式会社エイト日本技術開発
☆	長井 克成	株式会社カギテック
☆	八幡 吉樹	株式会社フジヤマ
☆	供田 豪	株式会社国際開発コンサルタンツ
☆	井上 公究（～令和5年5月）	日本工営都市空間株式会社
	陸浦 昂起（令和5年6月～）	日本工営都市空間株式会社
☆	大野 陽平	八千代エンジニアリング株式会社
☆	佐藤 雄斗	大日コンサルタント株式会社
☆	鵜飼 浩大	中央コンサルタンツ株式会社
☆	柳原 奨	大日本ダイヤコンサルタント株式会社
☆	岡戸 光（～令和5年8月）	中日本建設コンサルタント株式会社
	田中 良樹（令和5年9月～）	中日本建設コンサルタント株式会社

2. 活動内容

2.1 各種会議等の開催

(1) 概要

若手の会 WG では、活動内容の検討等を目的として定例 WG を開催しました。
上記定例 WG に加えて、技術部会へ参加しました。

(2) 定例 WG

1) 開催目的

定例 WG は、本 WG の活動内容をメンバー同士で提案・議論を行い、各イベント等の内容を充実させることを目的としました。

2) 開催形式

開催形式は、メンバーの業務状況や新型コロナウイルス感染状況等を踏まえて以下の開催方式から選択して柔軟に対応しました。

- ・対面形式
- ・WEB 形式
- ・ハイブリッド形式(対面と WEB 併用)

3) 開催時期

定例 WG は、繁忙期を避けて 5～12 月の期間で月 1 回程度開催しました。

回数	開催日	開催時間	開催形式
第 1 回	令和 5 年 5 月 11 日 (木)	15 : 00～16 : 00	ハイブリッド形式
第 2 回	令和 5 年 6 月 25 日 (木)	15 : 00～17 : 00	対面形式
第 3 回	令和 5 年 7 月 20 日 (木)	15 : 00～16 : 00	対面形式
第 4 回	令和 5 年 8 月 24 日 (木)	16 : 00～17 : 15	対面形式
第 5 回	令和 5 年 9 月 21 日 (木)	15 : 00～17 : 00	対面形式
第 6 回	令和 5 年 10 月 17 日 (火)	13 : 00～14 : 00	対面形式
第 7 回	令和 5 年 11 月 1 日 (水)	11 : 00～12 : 00	WEB 形式
第 8 回	令和 5 年 11 月 16 日 (木)	16 : 00～17 : 00	ハイブリッド形式
第 9 回	令和 5 年 12 月 21 日 (木)	16 : 00～17 : 00	対面形式

(3) 技術部会

1) 開催目的

技術部会の4委員会（道路委員会、河川委員会、構造土質委員会、都市計画委員会）と活動内容の報告と情報共有を図ることを目的としています。

2) 主な議題

技術部会の主な議題は、各委員会の直近（前回の技術部会以降）の活動結果と活動予定の報告、技術部会として各委員会の情報共有です。

3) 開催時期

技術部会は、拡大技術部会を含めて年4回開催しております。今年度の開催時期は、以下のとおりです。

回数	開催日	開催時間	備考
第1回	令和5年5月10日（水）	15:00～17:00	
第2回	令和5年7月26日（水）	15:00～17:00	
第3回	令和5年10月25日（水）	15:00～17:00	
第4回	令和6年1月29日（月）	15:00～17:00	拡大技術部会

4) 感想

技術部会の委員会は、対外的（行政機関、協会等）な講習会や意見交換会の企画・開催をしており、来年度以降に意見交換会を実施する際に必要なことを学ぶ機会になりました。

今後、若手の会WGで積極的な企画を立案し、若手であるからこそその発想力等を武器に活動を実施し、成果等を報告できるようにしたいと思います。

2.2 若手の会交流会

(1) 概要

「業界展望を考える若手技術者の会（本部若手の会）」が主催する「建コン WILLSUMMIT 2023」へ代表メンバーが参加しました。WILLSUMMIT 2023 では、コロナ禍での各支部の活動報告、アフターコロナを踏まえた活動予定を通して、事例を共有しました。また、グループワークセッションや現場見学により、他支部の若手技術者との交流を図りました。

(2) 実施日時、場所

- ・令和5年7月27日（木）～29日（土）
- ・【1日目】NLC 新御堂ビル会議室
- ・【2日目】明石海峡大橋、人と防災未来センター、三宮研修センター
- ・【3日目】中央復建コンサルタンツ株式会社 大阪本社会議室

(3) 実施内容

【1日目】「建コンの魅力」とその魅力を誰に届けたいのか？を再認識する

- 各支部の活動状況の報告（中部支部は山下さんが報告）
- グループワークセッション＜建コンの魅力を再認識＋発信＞
- 懇親会

【2日目】現場・施設見学を踏まえて「建コンの魅力」を届ける方法を考える

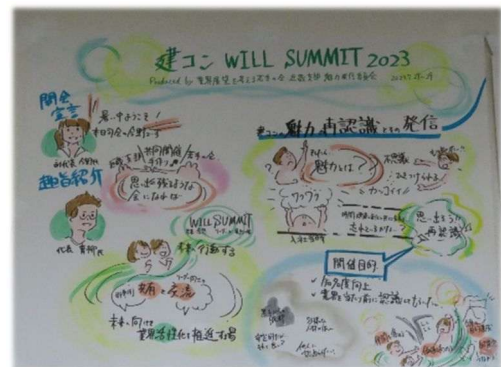
- 明石海峡大橋見学
- 人と防災未来センター見学
- グループワークセッション＜建コンの魅力を誰に何をどのように伝えるのか＞
- 懇親会

【3日目】2日目までの魅力の届け方の具体化を考える

- グループワークセッション＜建コンの魅力の伝え方を具体化＞

(4) 感想

各支部で様々な活動を行っており、来年度に向けて参考になる内容が多かったです。また、全国の技術者と意見交換できたことで、建コンの魅力や改善点を再認識することができました。今後も熱い想いをもち、業界活性化に向けて取り組みたいと感じる会となりました。



2.3 学生 PR

2.3.1 「JOB Café in 名古屋」の開催

(1) 概要

学生が職業選択を行うにあたって「建コン」について知る機会、現状、インターンシップや新卒採用向けの企業説明会など、特定の企業とのつながりに限られています。

そのため、就職活動を控えた学生と若手技術者が自由に話すことで、学生側が「建コン」業界全体を知る機会と、有益な情報を得られる場を創出する目的でジョブカフェの企画・開催をしました。

(2) 実施日時、場所

- ・令和5年11月11日（土）14:30～17:30
- ・オフィスパーク名駅花車デザイン会議室
（花車ビル北館9回 910AB）

(3) 実施内容

- I. 建設コンサルタントとは？
- II. 建コン若手のとある一日
- III. 建コンに就職を決めた理由
入社前後のギャップとやりがい
- IV. フリートーク

(4) 感想

参加した学生の多くが業界について志望しており、全体的話から分野による仕事内容等の違いや各社の特色などより深い話をすることができました。参加した学生の満足度も高いことから、今後も継続して開催することで、より建コン業界を知ってもらえるような情報発信の形を検討していきたいと思えます。

ケンコンを知りたい学生のための1日限定のカフェ
(建設コンサルタンツ協会主催の交流会)

JOB Café

— 参加者募集のお知らせ —

日時：令和5年11/11(土) 14:30～17:30
会場：オフィスパーク名駅花車デザイン会議室 (花車ビル北館9回 910AB)
※11月10日(金)午後18時～19時

JOB Café とは…?
建設コンサルタントを知りたい学生のための1日限定のカフェです。協会主催の交流会なので、会社説明会とは異なる本音が聞けるかも！
※新型コロナウイルス感染症予防対策として広い会場で開催します

■開催概要
主催：(一社)建設コンサルタンツ協会 中部支部 若手の会
定員：30名 (定員締切)
参加費：無料
備考：私観でOK！お気遣いご遠慮ください！

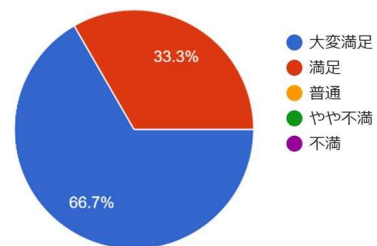
Program
14:30-14:40 開場(自由参加)
14:40-15:10 建設コンサルタントの紹介
15:10-17:15 フリートーク (説明+30分×3+休憩)
→色々な人と交流できるよう30分毎に所替えします！
17:15-17:30 記念撮影・閉会の挨拶

お申し込みはGoogle フォームより!!!
下記URLにアクセス、もしくはQRコードをスキャン
(件名: フォームURL: <https://forms.gle/AaJ8WY3eJ85Dm96>)

新型コロナウイルス感染症予防対策を実施します！
会場地図



イベントの内容についてどうでしたか
9件の回答



2.3.2 あいち建設未来サロンへの参加

(1) 概要

愛知県が主催する学生への業界 PR の場である「あいち建設未来サロン」に参加して、就職活動を行う学生の方に対し“建設分野の魅力”を発信するとともに“建設分野に携わる若手人材の育成”を行うことを目的としています。

(2) 実施日時、場所

- ・名古屋工業高等学校（令和 5 年 11 月 24 日 13：30～15：20）
- ・名古屋工業大学（令和 5 年 12 月 4 日 16：00～17：30）

(3) 実施内容

【名古屋工業高等学校】

- ・建設会社・建設コンサル・公務員から各 2 名ずつ、計 6 名が出席。
- ・学生からの業界に関する質問等に答え、各業界の魅力の発信等を行った。

【名古屋工業大学】

- ・建設会社・建設コンサル・公務員から各 4 名ずつ、計 12 名が出席。
- ・学生からの業界に関する質問等に答え、各業界の魅力の発信等を行った。

(4) 感想

例年参加させていただいており、建コンの魅力を伝えていますが、建コン業界の認知度がなかなか浸透していない印象を受けました。

また、高校生や大学 2 回生は、建コンに関わる授業(設計や製図、測量)に対して苦手意識が強く、就職先の選択肢から外されているという印象を持ちました。

しかしながら、主催者より「高校生にとっては、なかなか馴染みのない建コンという仕事ですが、建コンの仕事がよく分かったとのアンケート回答が多数あり、主催者としても大変嬉しく思います。」との報告を頂いたことから、あいち建設未来サロンを通して、建コンの認知度向上の効果があったかと思えますので、これからも同様の活動については継続していく必要があると考えます。



2.3.3 建設技術フェア 2023in 中部

(1) 概要

建設技術フェアとは、建設技術フェア in 中部運営委員会が主催しており、①産・学・官の技術交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進に資すること、②建設関連産業の進行、技術開発の推進及び商取引の拡大を図ること、③建設分野を専攻している学生に技術開発の現状と方向性を紹介すること、④建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を広く一般の方々に紹介することを目的としています。そのため、各企業や行政がブースを出展し、建設技術を紹介しています。

(2) 実施日時、場所

- ・令和5年12月6日（水）10：00～17：00／12月7日（木）10：00～16：00
- ・ポートメッセなごや 第3展示館

(3) 活動内容

若手の会では、建設コンサルタンツ協会が出展しているブースを担当し、学生に対して建設コンサルタントに関して説明しました。

- ・12月6日（水）：若手の会より、4名参加（午前2・午後2）
- ・12月7日（木）：若手の会より、4名参加（午前2・午後2）

(4) 感想

学生と建設コンサルタンツ協会のブースに対して、以下のような印象を持ちました。

学生を担当して感じたことは、大学3回生の方は、就活を控えているため、積極的な姿勢でしたが、2回生や1回生では、就活に対する意識が低く、工業系の大学でも建設コンサルタントを知らない方が多かったです。

建設コンサルタンツ協会のブースに対して感じたことは、ポートメッセなごやの立地条件から、そもそも学生が少なく、建設コンサルタンツ協会のブースを訪れる人数が少ないと感じました。また、各社がブースを出展しているため、建設コンサルタントの説明だけでは、学生の興味が薄いと思いました。

今後は、建設コンサルタンツ協会として取り組んでいることを積極的にアピールすることで、業界として盛り上げようとしていることを学生に周知していくことが重要であると思います。



2.4 女性の会との交流

2.4.1 合同 WG

(1) 概要

昨年に引き続き、「女性の会 WG」より活動内容の連携を図り、活動内容の充実を目的として、合同 WG の提案をいただきました。

女性の会および若手の会の合同 WG を開催して活動内容の共有と充実を図りました。また、両会の合同意見交換会の開催など、今後の活動方針についても協議しました。

(2) 実施日時、場所

- ・令和 5 年 9 月 21 日（木）16：00～17：00
- ・アレックスビル 3 階

(3) 実施内容

以下の内容について合同 WG にて議論し、活動の参考としました。

【活動状況の報告】

女性の会、若手の会の今期の活動内容について、情報共有を行いました。

【合同 WG 意見交換会について】

建コンで働く社員として、業界が抱える課題点等を女性、男性の両視点の意見を収集するために女性の会から、合同の意見交換会の開催を提案いただきました。意見交換会のタイムスケジュール、トークテーマ等について協議しました。詳細は後述する「2.4.2 意見交換会」に示します。

(4) 感想

今期の若手の会には女性社員がいないこともあり、普段の WG では得られない女性視点の貴重な意見をいただき、内容が充実できたと考えます。

業務やイベントがあるのでお互い多忙ですが、今後も合同 WG を継続したいと考えます。



2.4.2 意見交換会

(1) 概要

女性の会が「建コン業界で働く女性の勉強会」にて集約した課題点に対し、男性、女性両方の目線の意見を収集することを目的として開催しました。

各会社が導入している働き方改革、制度を情報共有し、建コン業界が抱える課題の改善点や今後の業界の期待事項等について意見交換しました。

(2) 実施日時、場所

- ・令和5年10月17日（火）14：00～17：00
- ・アレックスビル 1階 会議室

(3) 実施内容

【トークテーマ】各会社で導入している制度と運用状況

- ・福利厚生（育休・産休等）の制度の導入状況や利用状況
- ・時短勤務、在宅勤務等の働き方改革に関する制度 等

【参加人数】若手の会 12名、女性の会 15名（計 27名）

- ・5人：3グループ、6人：2グループ（計 5グループ）

【タイムテーブル】

- ・14：00～14：30 自己紹介および各会社の制度状況の共有
- ・14：30～16：30 意見交換および結果まとめ
- ・16：30～17：00 発表（5分×5グループ）

(4) 感想

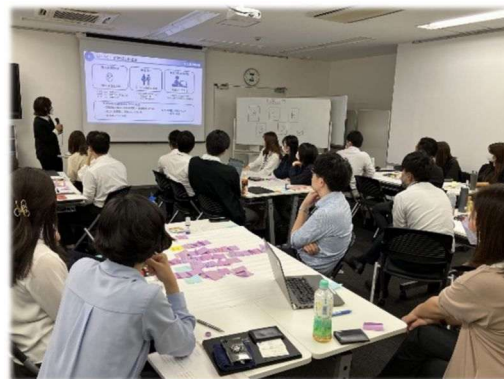
各会社の制度や働き方改革は、産休・育休についての意見が多くありました。

建コン業界が抱える問題として、業務量の多さや過密日程等の課題も相まって、休暇の取得が躊躇われることが挙げられました。その問題の改善策として、チーム施工の推進や、発注者の理解・協力のもと、過密日程の緩和を目指す、等の意見があげられました。

収集した意見を基に、両会の今後の活動や建コン業界の労働環境の向上に役立てたいと考えています。



意見交換の様子



発表の様子

2.5 産官三機関合同インターンシップ

(1) 概要

中部地方整備局、(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部、(一社)日本建設業連合会中部支部が合同でインターンシップを実施しました。3業種の就業体験や職員との意見交換を通して各業種の特色及び公共工事の計画から調査・設計、工事、管理という一連の流れに対し、理解を深めてもらうことで、学生の適切な進路選択をサポートしました。

(2) 実施日時、場所

- ・令和5年9月4日(月)～令和5年9月8日(金)
- ・中部地方整備局、庄内川河川事務所 小里川ダム管理支所、新丸山ダム施工現場 他

(3) 実施内容

- ・9/4(月):オリエンテーション、各業種の概要説明、
グループワーク「防災・減災を考えたまちづくり」①
- ・9/5(火):中部地方整備局での就業体験
(治水計画概要、小里川ダム見学、インフラツーリズム企画等)
- ・9/6(水):建設コンサルタントでの就業体験
(CIM作成、解析・設計業務、まちづくり計画等)
- ・9/7(木):ゼネコンでの就業体験
(新丸山ダム施工現場見学、防災・減災について等)
- ・9/8(金):各業種の若手社員との意見交換、
グループワーク「防災・減災を考えたまちづくり」②、成果発表

(4) 感想

今回初めての試みであったが、好評とのことでした。来年度も引き続き、建設業界の魅力向上・発信していきたいと考えます。



【地整】小里川ダムで職員の説明を受ける



【ゼネコン】現場でも学生が積極的に質問



若手とざっばらんな意見交換で盛り上がる



実在の市を題材とした防災・減災対策について、グループごと成果発表



2.6 中部圏インフラ整備構想協議会

(1) 概要

中部圏インフラ整備構想推進委員会が検討を進めている「中部圏インフラ整備構想」において、第1回構想協議会が行われ、構想の目的や作成方針、構想のテーマ、これまでの活動履歴等についての報告を受けました。また、構想テーマにおける考え方や、目次案及び骨子案、構想の作成に関する留意点等について、推進委員会役員と意見交換しました。

(2) 実施日時、場所

- ・令和5年11月9日（木）13:00～14:50
- ・アレックスビル 1階 会議室

(3) 実施内容

- ・第2回推進委員会の報告
- ・中部圏インフラ整備構想における具体手の説明
 - 着手から本日までの経緯
 - 目次案
 - 骨子案
 - 今後の工程
- ・意見交換

(4) 感想

中部圏インフラ整備構想推進委員会と、各技術部門の検討委員会、若手の会 WG、女性の会 WG の各担当者が出席し、構想の対象地域や作成にあたって考慮すべき事項、具体の目次案について意見交換を行いました。「真の豊かさを実感できる国土づくりに向けて」という大きなテーマのもと、各生活圏において重点的に進めるべき施策の項目や、構想に盛り込む重要なキーワード、それら相互の関連性について闊達な議論を行い、社会において建設コンサルタント業務が担う役割、技術者としての自身の立場を再認識するとてもよい機会となりました。

2.7 業界の意識調査に関する活動

(1) 概要

建設コンサルタント業界は人口の減少に伴う若手技術者の減少や労働基準法の改正等社会情勢の変化、新型コロナウイルス感染拡大に伴う就労体制・時間の変化に直面しています。

こうした中、中部支部 若手の会では、業界の皆様が抱えている不満や不安、要望や期待を把握すべく意識調査アンケートを実施しました。今後は、アンケート結果を踏まえ、「講習会」「若手技術者の意見交換会」などの活動を企画し、皆様の声が業界を変える最初の一步となるようにしていきたいと考えています。

(2) スケジュール（案）

業界の意識調査に関する活動は、活動内容を模索することから始めて以下のステップを踏まえることとしました。

ステップ	概要	R4	R5	R6	R7	R8
ステップ①	現状把握 ⇒アンケート案の作成	■	■			
ステップ②	現状集計 ⇒アンケートの実施・集計		■	■		
ステップ③	現状分析・今後の方針の決定 ⇒アンケート結果の分析			■	■	
ステップ④	意見交換会の実施 ⇒対象：女性の会、他支部、行政 .etc			■	■	
ステップ⑤	活動内容の決定 ⇒業界の方々のニーズを踏まえる			■	■	
ステップ⑥	イベント等（勉強会、PR 活動等）を企画・立案そして開催				■	■
ステップ⑦	活動結果分析⇒活動結果を分析して、活動内容の改善を行い継続する					■

■ 実施済 ■ 実施予定

(3) 今年度の活動

令和4年度にステップ①まで行っていましたが、新規メンバーに交代したことを踏まえ、再度アンケート案を見直しました。その後、役員会への確認を踏まえ、アンケートを実施しました。

令和5年度は、ステップ②まで実施しました。ステップ③の現状分析は未実施ですが、ステップ④の意見交換会は他支部でも実施されていることから情報収集を行いました。

令和6年度では、ステップ④の中部支部女性の会 WG と他支部との意見交換会の実施を企画する予定です。

(4) アンケート概要

アンケートの概要は以下の通りです。

項目	内容
実施期間	令和5年11月6日(月)～令和5年11月17日(金)
アンケート手法	Google フォームを用いた Web アンケート
回答時間	5～10 分程度
設問内容	(1) 回答者の属性 (2) 職場の満足度について (3) 職場環境について (4) ワークライフバランス調査

(5) アンケート結果

362 名の方の回答を収集することができました。令和5年度の活動では、簡易集計のみ実施しました。令和6年度の活動でアンケートの詳細な分析を行い、報告書にします。

以下に、簡易集計の抜粋を示します。

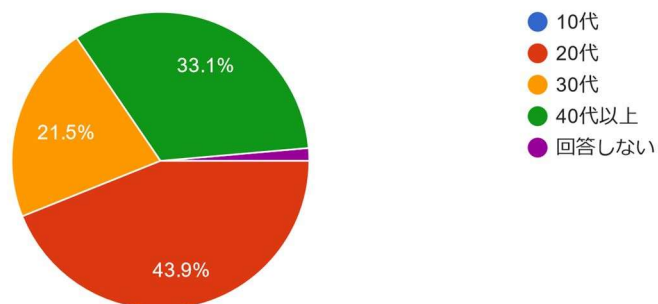
- ・ 回答の半数程度が20代若手
- ・ 今後の勤続意向としては転職するつもりはないと回答する方が7割程度
- ・ 業務量が多いと回答する方が7割程度
- ・ 上司や部下と仕事の内容で話しやすいと回答する方が7割程度
- ・ 現在の仕事の満足度で言えば、5段階中3が多数

【簡易集計の分析】

業務をするうえでの人間関係は問題ないため、転職を考える人は少ないです。しかし、業務量が多いため、仕事の満足度が良いと回答する人は少ないという結果であると考えられます。

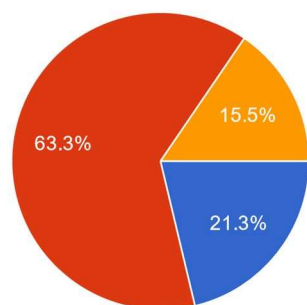
年齢

362 件の回答



主な従事分野

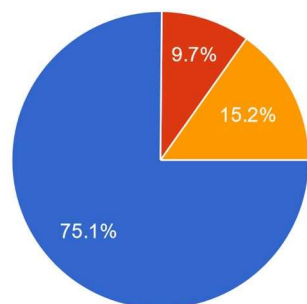
362 件の回答



- 技術職（管理職）
- 技術職（一般職）
- 一般職（事務、営業）

現在の職場の勤続意向について教えてください。

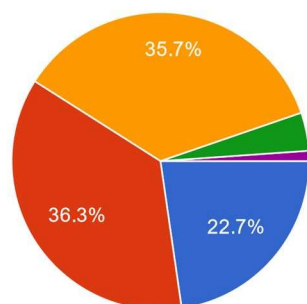
362 件の回答



- 転職するつもりが無い
- 転職を考えている（同業他社）
- 転職を考えている（異業種）

自身の従事する業務量をどのように感じますか。

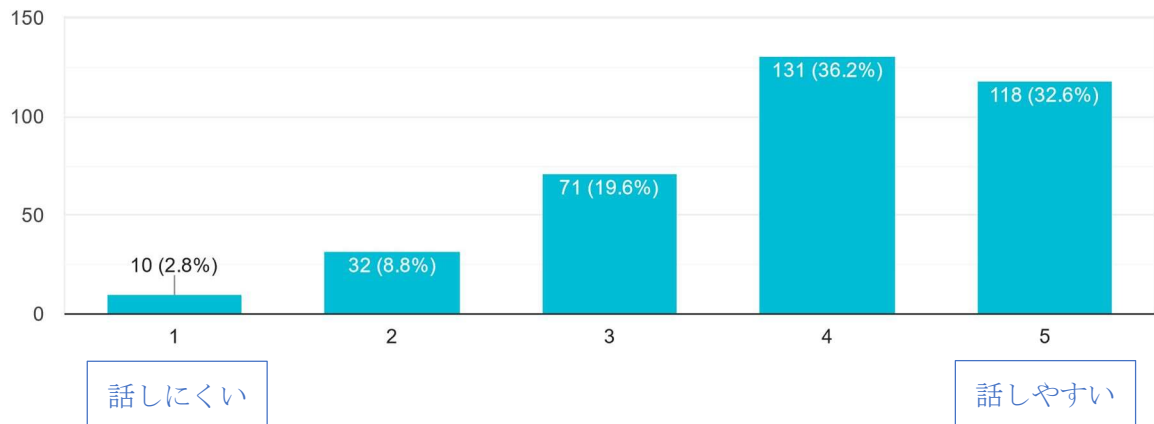
361 件の回答



- 多い
- やや多い
- 適当
- やや少ない
- 少ない

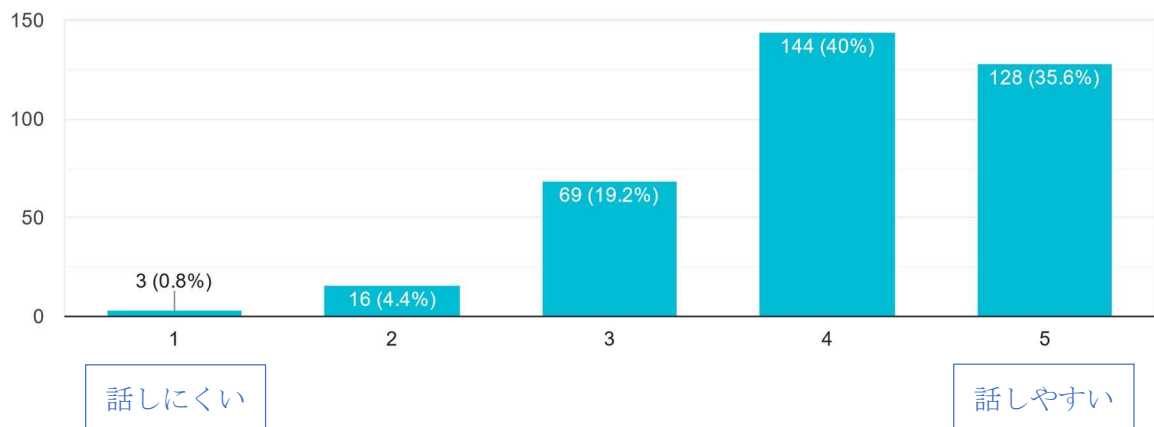
部署内の上司に対して、仕事の内容は話しやすいですか。

362 件の回答



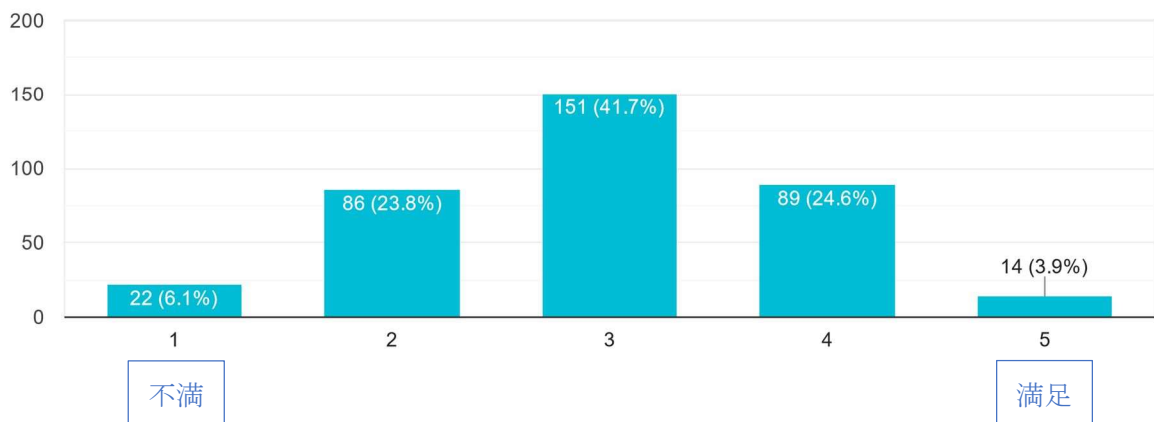
部署内の同僚・部下に対して、仕事の内容は話しやすいですか。

360 件の回答



あなたの現在の満足度について、5段階評価を教えてください。

362 件の回答



2.8 図夢 in 中部への投稿

【51号（令和5年前期）】

技術部会

若手の会

若手の会委員 供田 豪

「中部若手の会WG」は、令和5年度になり平成29年の発足から7年目に突入しました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が続き、対面を伴うイベントは制限がありました。オンラインによるWGの実施や感染症対策を実施した上でJOB Café等の開催といった成果を残すことができました。

令和4年度下半期の活動内容と令和5年度上半期の予定を報告させていただきます。

< 令和4年度下半期の活動内容 >

1. Job Café の実施

1.1 検討概要

- ・開催日：令和4年11月19日（土）14:30～18:00
- ・場 所：オフィスパーク名駅・花車デザイン会議室

1.2 開催内容

「気軽に建コンを知ってもらう」ことをコンセプトに、就職活動を控えた学生が気兼ねなく若手技術者と自由に話すことができるよう、カフェ形式を意識して企画を行いました。

※今年度は、新型コロナ感染拡大防止の観点から、広い会議室を利用して開催しました

1.3 開催結果

複数の大学より計8名の学生に参加していただき、会社説明会等では得られない情報交換を積極的にできたため、参加した学生の方より、「建コン業界を知るよい機会だった」等の好評を得られました。今後もJOB Caféを定期的実施して、建設コンサルタント業界の認知をより広めたいと考えております。

Program
 14:30-14:40 JOB Caféの説明
 14:40-15:10 建設コンサルタントの紹介
 15:10-17:15 フリートーク（説明+30分×3+席替え）
 →色々な人と交流できるよう30分毎に席替えします！
 17:15-17:30 閉会の挨拶

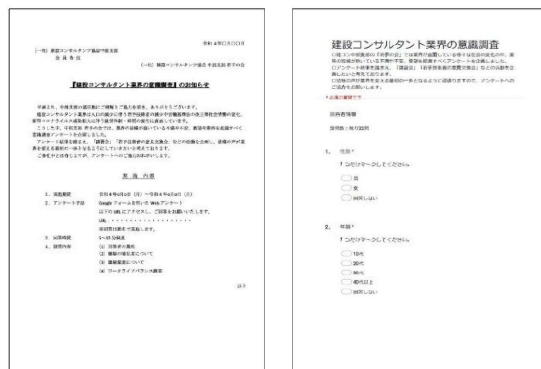
フリートークでは何を聞いてもOK!



< 写真-1 JOB Caféの様子 >

2. 業界の意識調査に関するアンケート

建設コンサルタント業界は、人口減少に伴う若手技術者の減少や社会情勢・就労体制等の変化に直面しています。このことから、「業界の意識調査」を目的としたアンケートを検討しました。アンケートの内容について定例会議で意見交換をしながら、作成をしています。令和5年度の上半期に協会所属の各社への配布を目標に動いています。



< 図-1 アンケート検討案 >

< 令和5年度上半期の活動予定 >

令和4年度下半期の状況等を踏まえて、以下の活動を予定しています。

- ① JOB Café：昨年度の開催が好評であったため、今年度も実施する予定です。
 - ・ 上半期⇒開催内容、規模等を検討、決定
 - ・ 下半期⇒準備・開催予定
- ② 本部イベント：「業界展望を考える若手技術者の会」（本部若手の会）が主催するWILLSUMMITを含めて本部若手の会との連携を図ります。7/26（木）～7/28（土）の3日間開催予定です。
- ③ あいち建設みらいサロン：愛知県が主催する業界PRを目的としており、就職活動を行う学生に向けて「建コン」の魅力を発信する場です。今年も要望に応じて参加します。
- ④ 建設技術フェア2023in中部：昨年度に引き続き、技術部会・若手の会・女性の会が協同で参加し、学生に対する業界説明を行います。
- ⑤ 産官三機関合同インターンシップ：大学・高等専門学校を対象に行う合同インターンシップ（中部地整、日建連、建コン協会の3機関）である。若手の会も参加します。
- ⑥ 業界の意識調査に関するアンケート：作成したアンケートを協会会員の各社に配布します。

技術部会

若手の会WG

サブリーダー 中迫 惇斗

発足から7年目となった「中部若手の会WG」の令和5年度は、約半数のメンバーが入れ替わったことに加え、コロナ禍が落ち着いてきたこともあり、メンバーが活動・主催イベント等について、対面・Web会議を行いながら色々企画しました。また今年度は、女性の会と意見交換の場も設けました。

令和5年度上半期の活動内容と令和5年度下半期の予定を報告させていただきます。

< 令和5年度上半期の活動内容 >

1. 活動方針の検討

1.1 検討概要

メンバーで活動内容について、前年度に引き続き、①学生PRと②業界の意識調査を主な活動方針として設定し、企画の立案や参加を行いました。

1.2 学生PR:JOB Caféの企画

前年度も実施した「気軽に建コンを知ってもらう」ことをコンセプトにしたJOB Caféを今年度も実施の方針で企画検討を行いました。

1.3 建コン業界の意識調査（アンケート調査）

業界の皆様が抱えている不満や不安、要望や期待を把握するため、協会会員会社に在籍している社員に向けた「業界に対する意識調査アンケート」の内容について検討しました。

2. WILL SUMMIT 2023@近畿への参加

2.1 目的

「業界展望を考える若手技術者の会」が主催するWILL SUMMITに本部や他支部と親睦を図りつつ、意見交換や若手の会のアクションに繋がるアイデアを創出するために参加しました。

2.2 概要

<開催日> 令和5年7月27日(木)～29日(土)

<内容>

- 1日目 若手組織の活動の情報共有、「建コンの魅力」とそれを誰に届けたいのか？を再認識する
- 2日目 現場・施設見学から魅力の伝え方の気付きを得て「建コンの魅力」を届ける方法を考える
- 3日目 総括



< 写真-1 WILL SUMMIT 2023全体写真 >

2.3 感想

全国各支部の代表者が一堂に介し、それぞれの支部活動報告受け、好事例を共有することができ、今後の展開が期待できると感じました。また、現場見学を通して、建コンの魅力の再認識することができ、今後の活動においてこれらを発信していく必要があると感じました。

3. 産官三機関合同インターンシップへの参加

3.1 参加目的

建設コンサルタント業界の魅力を学生に発信し、人材を業界に呼び込むことを目的として参加しました。

3.2 参加概要

- ・開催日：令和5年9月4日(月)～8日(金)
- ・場 所：各企業・行政等

4. 女性の会との意見交換会

4.1 目的

女性の会が昨年行った「建コンで働く女性のための勉強会」の結果を踏まえ、対象者を女性に限らず、幅を広げた勉強会を実施するために、意見を収集することを目的とした意見交換会を実施した。

4.2 概要

- ・開催日：令和5年10月17日(火)
- ・場 所：アレックスビル1階貸会議室



< 写真-2 女性の会 意見交換会 >

< 令和5年度下半期の活動予定 >

昨年度や上半期の状況等を踏まえて、以下の活動を予定しています。

- ① JOB Café: 昨年度開催後に実施した参加者へのアンケートで大変好評だったため、今年度も開催します。(11/11(土))
- ② あいち建設みらいサロン: 愛知県からの要望に応じて参加します。(名古屋工業高等学校: 11/24(金)、名古屋工業大学: 12/4(月))
- ③ 建設技術フェア 2023in 中部: 学生広場で就職を考える学生に対して、建設コンサルタントの魅力を伝えます。(12/6(水)、12/7(木))
- ④ 建コン業界の意識調査を目的としたアンケート調査を実施します。

3. 感想と今後

3.1 年間の活動を通して

新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」となった5月から、新規メンバーを加えた若手の会がスタートしました。それまで活動の制限や計画が頓挫した影響もあり、年間の活動計画に苦戦しました。しかしながら、対面によりWGが実施できたことで、これまで同様にジョブカフェの開催や女性の会との意見交換会といった成果を残すことができました。

今後は、Willsummitで収集した他支部の活動内容やジョブカフェ等で集約した学生の意見などに加え、建コンで働く方を対象にしたアンケートの集計結果を踏まえた、新たな活動に取り組みたいと考えています。それにより、若手の会の活動目的である「建設コンサルタントの将来を担うリーダーとして活躍する人材育成」および「業界活性化（入職率アップと離職率ダウン）」の実現に努めていきたいです。

3.2 今後の活動方針

◇アンケートの集計・分析

今年実施した建コンで働く方を対象にしたアンケートでは、簡易的な集計ではあるが、皆さんが抱えている不満の概要を知ることができています。そこで、アンケート結果を詳しく集計・分析することで、具体的な課題を抽出したいと考えております。また、自由意見を整理することで、生の声を把握し、今後の活動方針を決定する上で参考にしていきたいと思っております。

◇ジョブカフェの継続

ジョブカフェに参加いただいた学生の方からは、建コンについて理解が深まったといった意見を、事後のアンケートより得られました。

しかし、参加者数が9名（2021年：14名、2022年：8名）と少ないことが課題となっています。そこで、来年は10～11月頃の開催日程を前倒しすることで、業界研究やインターンシップ参加が活発な時期にジョブカフェを開催する予定です。

◇中部支部メンバー以外との意見交換会（交流会）

他支部の若手の活動では、発注者の若手の方との意見交換会を開催しています。中部支部でも将来的には、同様の機会を設けることで、立場の違いによる働き方等のギャップを共有でき、今後の在り方を考えるよいきっかけになると考えます。

そこでファーストステップとして、女性の会との意見交換会の継続、本部や他支部との交流会を考えています。現在、中部支部は閉鎖的な活動となっているので、各交流会を通して活動の幅が広がることを期待しています。